

過労死防止学会設立記念大会

・2015年5月23日

・明治大学・駿河台キャンパス リバティータワー

第1部：記念シンポジウム

急がれる過労死の調査研究と防止対策 ―いま何が問われているか―

<報告>

寺西 笑子(過労死を考える全国家族の会代表)

過労死のない社会の実現をめざす遺族の願いと防止法の課題

熊沢 誠(甲南大学名誉教授)

過労死・過労自殺の要因とこれからの課題

加藤 敏(自治医科大学名誉教授、小山富士見台病院院長)

高度資本主義下の日本における企業情勢と職場のメンタルヘルス

<討論>

ノース・スコット(大阪大学人間科学研究科教授)

過労死等防止対策推進法の懸念と、過労死防止基本法への期待

岸 玲子(北海道大学環境健康科学研究教育センター特任教授)

過労死を防ぐには労働・雇用と安全衛生に関わるシステムの再構築が必要

―日本学術会議提言に触れて―

西谷 敏(大阪市立大学名誉教授)

過労死問題と労働時間問題――関連性を明確に

東海林 智(毎日新聞記者)

どんな働き方が過労死を招くかの研究を

第2部 設立総会

事業報告――設立の経過と目的

会則の提案

2015年度事業計画と予算

理事および監事の選出



◇「設立記念大会」より

※「設立記念大会(第1回大会)」の報告内容は、過労死防止学会ホームページの、「大会報告と討論」→「2015年5月23日 過労死防止学会結成大会 報告と予定討論」に詳しく掲載されています：

<https://www.jskr.net/397/>

過労死防止学会 第2回大会

・2016年5月21日～22日

・関西大学・経済学部

第1日[5月21日(土)] 午後の部

国際シンポジウム(日、韓、仏) 過重労働による健康障害と労働時間規制

日本:

天竺 崇 代々木病院精神科医師

精神医学から見た日本の過労自殺対策と過労死防止法

韓国:

イム・サンヒョク 労働環境健康研究所所長

韓国における過労死問題の現状と課題

フランス:

セバスチャン・ルシュバリエ 国立社会科学高等研究院教授

フランスの週35時間制:時短の一方で労働強度の増大と作業組織の再編で高まるストレス

第2日[5月22日(日)] 午前の部

分科会

第1分科会 道路旅客運送業の労働実態と時間規制

松下末宏(自交総連大阪地連) 軽井沢スキーツアーバス転落事故について

中部 剛(神戸新聞記者) 西日本高速過労死事件にみる休息の取れない勤務体制

森岡孝二(関西大学名誉教授) 道路貨物・旅客運送業の超長時間労働の実態

第1分科会まとめ(中原のり子)

第2分科会 教員の過重労働と公務災害

中野淑子(東京家族の会) 公務災害認定に係る諸問題と課題

尾崎正典(静岡家族の会) 障害者支援教室で発生した公務災害

前川珠子(東北希望の会) 東北大学教員の過労死事件について

第2分科会まとめ(成瀬龍夫)

第3分科会 ホワイトカラーの労働時間管理

石川啓雅(政治経済研究所) 技術サービスにおける労働(残業)時間管理の問題点

—建設・土木の調査設計業を事例にして—

松浦 章(兵庫県立大学客員研究員) ホワイトカラーの長時間労働と「裁量労働制」

渡辺喜代子(東京家族の会) 商社の過労死事件における企業の責任と義務

第3分科会まとめ(寺西笑子)

第4分科会 若者の過重労働

大川英昭(東京都庁職員労働組合病院支部) 新人看護師の超勤実態と過労
色部 祐(いの健東京センター) 外国人技能実習生の労災問題について
中澤 誠(東京新聞記者):ワタミ過労死事件と和解の社会的意義
第4分科会まとめ(青木圭介)

第2日[5月22日(日)]午後の部

共通論題 過労死防止法・大綱と労働時間の制限・短縮

岩城穰(過労死防止全国センター) 過労死防止法と大綱の意義と課題について
西垣迪世(兵庫家族の会) 兵庫県における過労死防止の取り組みの経過と現状
秋山正臣(全労働省労働組合) 長時間労働の解消と過労死防止の課題
<コメント>

柏原英人(過労死防止大阪センター) 過労死防止活動と長時間労働改善の展望
伍賀一道(金沢大学・名誉教授) 雇用・労働の規制緩和と過労死問題

※「第2回大会」の報告内容は、過労死防止学会ホームページの、
「大会報告と討論」→「過労死防止学会第2回大会(2016年5月21～22日)報告集」
に詳しく掲載されています:
<https://www.jskr.net/621/>

◇「第2回大会」より



◇「第3回大会」より



過労死防止学会 第3回大会

・2017年5月20日～21日

・専修大学・神田キャンパス

第1日[5月20日(土)] 午後の部

特別シンポジウム 若者に広がる過労自殺の要因と対策

司会:黒田兼一(明治大学教授)、粥川裕平(かゆかわクリニック院長)

<報告>

川人 博(弁護士) 若者の過労自死事案の特徴と予防の課題

広瀬俊雄(産業医) 医師・医学生対象の「過労死・過重労働」研修会を通じての予防活動について

澤路毅彦(朝日新聞編集委員) 電通事件と若者の労働環境をめぐって

<討論>

久保直純(松山市新入職員過労自殺事件家族)

今野晴貴(POSSE代表、『ブラック企業』著者)

中沢 誠(東京新聞記者、『過労社会』著者)

第2日[5月21日(日)] 午前の部

分科会

第1分科会 道路貨物・旅客運送業の過重労働と過労死・過労自殺

司会:森岡孝二(関西大学名誉教授)

川村雅則(北海学園大学教授) バス運転者の働き方と、研究上の課題

松丸 正(弁護士) 過労死事案からみた道路貨物運動業の過重労働

色部 祐(いの健東京センター) タクシー会社の運行管理者の脳血管疾患についての検討

第2分科会 医療・介護・福祉分野の労働実態と過労死・過労自殺

司会:中原のり子(過労死家族の会)

佐藤誠一(北海道いの健センター) 新卒看護師の過労自死事例から看護師の勤務改善を考える

杉山・安部・松田・大利(都庁職病院支部) 新人看護師の超勤実態と過労

―夜勤導入前と夜勤導入後の比較―

池田一慶(介護・保育ユニオン職員) ケアワーカーの過重労働について

～介護保育ユニオンの現場から

第3分科会 情報通信産業の長時間労働と過労死・過労自殺

司会:伍賀一道(金沢大学名誉教授)

西垣迪世・木谷晋輔(過労死家族の会) 富士通SSLシステムエンジニア過労死事件

北野眞一(情報労連) IT業界における長時間労働とその対策

北 健一(ジャーナリスト)「電通事件から見た広告産業」

第4分科会 教員と公務員の公務災害

司会:成瀬龍夫(滋賀大学名誉教授)

工藤祥子(東京家族の会) 公務災害制度に係る諸問題及び教師の働き方の現状と問題点

尾崎正典(静岡家族の会) 教育現場における教諭の過労死防止の安全対策について

木村和子(静岡、被災者家族) 尾崎報告への追加 1

田村和男(大阪家族の会) 尾崎報告への追加 2

ガン・ミンジョン(韓国勤労福祉研究所)、オ・ビンナラ(法律事務所人情 代表弁護士)

韓国の公務員の過労死・過労自殺問題について

第5分科会 長時間労働と職場の労働時間管理

司会:山縣宏寿(諏訪東京理科大学専任講師)

小森田龍生(専修大学講師) 労働者の抑うつ感情の規定要因に関する検討

渡部あさみ(青森大学専任講師) 日本の労使は労働時間をいかに扱ってきたのか

高田好章(基礎経済科学研究所) 派遣労働者の過重労働と労働時間についての一考察

第2日[5月21日(日)]午後の部

共通論題 第1回『過労死白書』と調査研究から見えてくるもの

司会:岩城 穰(弁護士)、寺西笑子(過労死家族の会)

<報告>

佐藤 靖夫(厚労省労働基準局総務課 過労死等防止対策企画官)『平成28年版過労死等防止対策白書の概要』

水野谷武志(北海学園大学教員、経済統計学) 第1回過労死白書の総合的評価と批判

長井偉訓(愛媛大学名誉教授) 過労死問題の研究動向と比較分析のための試論～中国の現状と学会動向にふれて

<討論>

中野淑子(過労等防止対策協議会前委員、公務災害担当)

松浦 章(兵庫県立大学客員研究員、元損保労働者)

※「第3回大会」の報告内容は、過労死防止学会ホームページの、「大会報告と討論」→「過労死防止学会第3回大会(2017年5月20～21日)報告集」に詳しく掲載されています:

<https://www.jskr.net/900/>

◇「第4回大会」より



過労死防止学会 第4回大会

・2018年6月2日～3日

・北海学園大学・豊平キャンパス

第1日[6月2日(土)] 午後の部

日・中・韓 過労死防止国際シンポジウム

司会: 竹信三恵子(和光大学教授)、スコット・ノース(大阪大学教授)

中国 楊 河清 首都経済貿易大学教授、中国適度労働学会会長

童 玉芬 首都経済貿易大学教授、中国適度労働学会副会長

王 欣 首都経済貿易大学博士課程研究生、中国適度労働学会理事

中国過労問題研究の現状

韓国 任祥赫(イム・サンヒョク) 医師、労働環境健康研究所所長

韓国で始まった過労死防止運動

日本 松丸 正 過労死弁護団全国連絡会議代表幹事 過労死110番運動の30年間

第2日[6月3日(日)] 午前の部

分科会

第1分科会 建設関連産業の就業実態と過労死

司会: 岩城 穰(弁護士)

松浦洋一郎(明治大学大学院経営学研究科院生・社会保険労務士)

建設労働者の社会保険未加入を端緒とする不安定就業の考察

中澤 誠(東京新聞記者) 東京五輪と建設業界

石川啓雅(公益財団法人政治経済研究所、高岡法科大学)

専門的技術的職種の労働時間——“働き方改革”の行方を考える

第2分科会 医療現場の長時間労働と働き方

司会: 粥川裕平(精神科医)

中原のり子(東京家族の会) 医師の過労死、これからの展望

大利英昭・杉山拓也・佐藤忍・松井愛子(東京都庁職員労働組合病院支部)

PNS(Partnership Nursing System)の時間外労働と疲労

田村 修(勤医協中央病院(札幌)精神科・リエゾン科医師)・吉岡愛未(勤医協中央病院(札幌)

臨床心理士) 新人看護師サポートプログラム9年間のまとめ

第3分科会 教員の「働き方改革」の取り組みと課題

司会: 前川珠子(宮城家族の会)

工藤祥子(神奈川家族の会) 公務災害制度に掛かる諸問題及び教師の働き方の現状と問題点

尾崎正典(静岡家族の会) 災害発生から10年目に出された東京高裁、最高裁の判決文における内容—全国の教職員の長期休職取得の状況、在籍死亡者の数、等より災害対策に対する提言—

大西正和(神奈川家族の会) 教職員の職場環境変革の課題と戦略～娘の生死との葛藤から～

第4分科会 裁量労働制と長時間労働の実態

司会: 松浦 章(兵庫県立大学客員研究員)

今野晴貴(NPO法人POSSE代表) 裁量労働制における労務管理の実態分析—求人情報及び
紛争事例による「グレーゾーン」活用及び労働市場の階層特性の解明—

三家本里美(一橋大学博士課程・修了見込み)

企画業務型裁量労働制の導入・運用をめぐる労使関係

塩見卓也(弁護士) 裁量労働制の制度上の問題点と論点

青木耕太郎(裁量労働制ユニオン) *加えて匿名で当事者の労働者

裁量労働制へのユニオンの取り組み

第5分科会 職場のハラスメントと過労の実態

司会: 寺西笑子(全国家族の会代表)

奥田雅治(MBSディレクター、『焼身自殺の闇と真相』(桜井書店、2018)の著者)

市バス運転手の焼身自殺と公務災害認定

前田和美・西垣迪世(兵庫家族の会) 神戸製菓会社20歳青年パワハラ自死事件

色部 祐(いの健東京センター) 自験例を通じて脳・心臓疾患および精神障害労災認定基準
改定の検討

坂口真澄(キャビンクループプロジェクト) 増加する客室乗務員の在職死亡、過労の実態と提言

第6分科会 韓国・中国の過重労働と過労死(通訳あり)

司会: 長井偉訓(愛媛大学名誉教授)

姜守亨(ガン・スドル)(高麗大学校教授) 韓国における過労死問題の社会経済的背景

梁東新・張智勇(チャン・ツィヨン)(武漢科学技術大学労働経済研究所)

幻のリラックス、女性大学教員の効果的時間配分政策—隠れた過労とストレスの感知—

卿涛(チン・タオ)(西南财经大学教授) 相対的搾取という視覚からの過度労働と従業員の健康
—調整されたメディエーションモデル—

李中斌(リ・チュンビン)(福建農林大学教授)・紀又予・徐程

過度労働従業員に対する正確な管理および評価規準研究

黄河(コウ・ガ)(江南大学副教授)・馬晶俊

リー生産方式における従業員の疲労状況調査及び予防対策研究

第2日[6月3日(日)]午後の部

共通論題 過労死問題からみた“働き方改革”の諸問題

司会: 東海林 智(毎日新聞記者)・水野谷武志(北海学園大学教授)

上西充子(法政大学キャリアデザイン学部教授)

労働時間規制の強化と緩和、抱き合わせがもたらす弊害

濱口桂一郎(労働政策研究・研修機構労働政策研究所長)

EUの労働時間法制とその含意

森岡孝二(関西大学名誉教授、過労死防止学会代表幹事)

36協定による労働時間規制の解除と時間外労働規制

※「第4回大会」の報告内容は、過労死防止学会ホームページの、
「大会報告と討論」→「過労死防止学会第4回大会(2018年6月2～3日)報告集」
に詳しく掲載されています:

<https://www.jskr.net/1235/>

過労死防止学会 第5回大会

・2019年5月25日～26日
・龍谷大学・深草キャンパス

第1日[5月25日(土)] 午後の部

特別シンポジウム 「働き方改革」関連法制定1年、各分野から成果と課題を問う

司会: 黒田兼一(元明治大学教授)、松丸 正(弁護士)

西垣迪世(全国過労死を考える家族の会兵庫代表・元過労死等防止対策推進協議会委員)

長時間労働と過労死等防止—過労死防止法大綱改定と働き方改革法と

今後の課題、息子の事件からの考察—

阪本輝昭(朝日新聞記者) 過労死問題をめぐる報道の過去と現在

脇田 滋(龍谷大学名誉教授)

「働き方改革」による労働時間規制の問題点 -「健康に働く権利」を実現する視点から

第2日[5月26日(日)] 午前の部

分科会

第1分科会 運輸分野

司会: 松浦洋一郎(社会保険労務士)

坂口 真澄(キャビンクループプロジェクト(CCP))

労働時間だけでは図れない航空機客室乗務員の疲労の実態

中部 剛(神戸新聞) 西日本高速道路会社過労死事件を通し、遺族支援を考察

第2分科会 医療・看護・介護・障がい者分野

司会: 井上千一(大阪人間科学大学教授)

中瀧清美(京都労災被災者家族の会代表・立命館大学大学院先端総合学術研究科博士課程)

過労死家族としての活動と研究

小池江利(大阪過労死を考える家族の会)

介護老人福祉施設における事務職員の過労死事件 ～その実態と問題～

東海林智(毎日新聞記者) 障害を持つ人の過労死の現場～新潟県庁過労死事件から考える～

第3分科会 教員・教育関係分野

司会: 伍賀一道(金沢大学名誉教授)

松丸 正(弁護士) 過労死等の視点からみる教員の勤務時間管理の問題点

尾崎正典(静岡家族の会) 被災職員の間接被害と被災を防いだ場合に想定できる現在の状況

及び被災を防ぐことのできたであろう方策の例の考察

田村和男(大阪過労死を考える家族の会) 堺市立泉ヶ丘東中学校 教員過労自死事案～

なぜ自死に追い込まれたのか～

(※報告者当日欠席)

第4分科会 自由論題 1

司会:伊藤大一(大阪経済大学准教授)

色部 祐(働くもののいのちと健康を守る東京センター)

外国人技能実習生の死亡事例に関する検討—特にベトナム実習生について
恩塚弘太郎(阪過労死を考える家族の会)

ダブルワークでうつ病を発症 セルフ式ガソリンスタンド危険物保安監督者うつ病発症事件
丸山美幸(東京都社会保険労務士会・社会保険労務士) ストレスチェックを実施して

第5分科会 自由論題 2

司会:寺西笑子(全国家族の会代表)

若田充子(明治大学大学院経営学研究科、ヴィジョン・ウィズ社労士事務所代表)

日本の労働現場において過労死・過労自殺が発生する要因と課題

高橋幸美(過労死防止全国センター会員)

過労死ゼロの社会を—高橋まつりはなぜ亡くなったのか

高垣英明・鈴木利往・吉田典子(愛知働くもののいのちと健康を守るセンター)

過労死遺族に課せられた労災認定の壁

第6分科会 コンビニ分野 テーマ:24 時間社会と「夜休む権利」——コンビニを中心に

司会:北健一(ジャーナリスト)

松本実敏(セブンイレブン東大阪南上小阪店オーナー) 24時間営業中止に踏み切った経験から

高橋義隆(コンビニ加盟店ユニオン副委員長・ファミリーマート加盟店オーナー)

過労で倒れた父からコンビニをひきついで

飯塚盛康(社会保険労務士) セブン共済の分析から浮かぶコンビニオーナーの在職死亡

姫井由美子(元参議院議員・司法書士) フランチャイズ規制をめぐる国会質疑から

佐々木司(労働科学者・大原記念労働科学研究所上席主任研究員)

睡眠研究から考える「夜休む」ことの意味

特別分科会 森岡孝二研究

司会:長井偉訓(愛媛大学名誉教授)

高田好章(基礎経済科学研究所所員) 森岡孝二先生は、何を語っていたのか

松浦 章(兵庫県立大学客員研究員) 森岡孝二の描いた未来

第2日[5月26日(日)]午後の部

共通論題 「働き方改革」関連法制定1年、職場の健康その実態を問う

司会:粥川裕平(名古屋工業大学名誉教授・かゆかわクリニック院長)、岩城 穰(弁護士)

金子雅臣(職場のハラスメント研究所所長) パワーハラスメント法制化で提起されている課題

天笠 崇(精神医学者・代々木病院) 長時間労働とうつ病・過労自殺

佐々木司(労働科学者・大原記念労働科学研究所上席主任研究員)

交代勤務・インタバルと過労死・過労自殺

※「第5回大会」の報告内容は、過労死防止学会ホームページの、
「大会報告と討論」→「過労死防止学会第5回大会(2019年5月25～26日)報告集」
に詳しく掲載されています:

<https://www.jskr.net/1482/>